

The Best Topics 7月号

春はあけぼの、夏は塾…

春は明け方がいいんです。そして夏は…塾がいいんです！

学校の授業が進まない夏こそ弱点克服や得意教科の予習など、色々取り組める絶好のチャンスですから。

え？もう夏の話？そんな1ヶ月以上も先の予定なんかされても部活やクラブチームの予定もわからないし…と思うかもしれませんが、実はあつという間に夏は来ます。予定がわからないからこそ、その日暮らしの行き当たりばったりにならないよう、勉強の予定だけでも立てて備えておく必要があります。

キツキツに予定を組まなくても、自分はココとココが苦手だから塾で復習して…とか、部活の試合で夕方までつぶれてしまう日は夜だけでも塾に来て…とか、ある程度考えておくだけでも夏休み中の過ごし方が数倍、いえ数十倍も充実します。まだピンときていない人のために、この後オススメの活用法も紹介していきます。

キミだけのプランが立てられるのも個別指導ならではの強みです。さあ！今までで一番充実した夏にしよう！

<中学1年生>

中学校の生活には慣れたでしょうか。中1ギャップという言葉が生まれているくらいで、小学生の頃と違い学習内容が難しくなったり、部活や行事が思っている以上に忙しくなったり…日々の生活をこなすのに精一杯という人も多いのではないのでしょうか。

逆にギャップがなかった人で『まだ始まったばかりだし、今のところ簡単だからそんなに頑張らなくても何とかなるし』と考えている人も要注意です。どんな時でも毎日コツコツ勉強を続けた人が成績upすることに例外はありません。特に1ヶ月後と少しで来る“夏休み”。その夏休みの過ごし方次第で今後を左右すると言ってもいい大切な時期なのです。



★夏期講習の活用法としては“規則正しい生活の確保・1学期中にできなかった単元の復習・2学期の予習”の3つがおすすめです。夏休み中に弱点を克服した人・2学期の先取りをした人は、2学期以降の勉強がかなり楽になると思います。

<中学2年生>

中2の夏休みは高校入試に向けた受験勉強のスタートです。受験勉強のスタートを幸先よく切るためには、中2の夏休みを充実したものにできるかどうかにかかっています。例えば、中学校への提出物は期日までに必ず提出するようにしましょう。

また、少しずつ目標を決めておくことも大切です。都立高校第一志望なら理科、社会の勉強も定期テスト勉強だけにとどまっていはいけないわけです。私立の難関校を目指す人は、この時期から英語・数学の厚みのある実力養成が必要です。そういう意味で大まかな高校受験のターゲットが決まると、計画を立てるときのしっかりした目安となります。

ポイント

★夏期講習の活用法としては“各教科の弱点克服や学力の底上げ”です。科目的には英語・数学・国語を重点的に取り組むとよいでしょう。中2の夏は部活動も忙しいので、あまり欲張らずに実現可能な計画を立てて確実な達成が出来るようにしましょう。

※中1～2生で特に目標が立てられないという人は、秋の検定（漢検・英検・数検）を1つの目標にして対策に取り組んでも良いかと思います。



<中学3年生>

この時期の中3受験生はチャレンジ校・目標校・滑り止め校など、志望校をある程度絞り込んでいきます。夏休み頃から学校見学・説明会が各高校で予定されています。どの学校に行けば良いのかこの時期に目安を決めておきましょう。また、偏差値の出る塾内テストや会場テストで現在の自分の学力を正確に判定することも重要です。テストを受けるときも適当に受けてはいけません。本番を意識して取り組むことはもちろん、受け終わった後の解き直し+わからなかったところの復習は絶対におきましょう。

夏休みは受験勉強の天王山とも言われ『夏を制するものは受験を制す』です。気を引き締めて生活していきましょう。

ポイント

★夏期講習の活用法としては“まず中学1～2年生の総復習”と“問題慣れ（アウトプット）”です。入試の6割は中学1～2年生の範囲から出題されます。ここができていなければ高得点は狙えません。わかっているけど問題慣れしていないだけという生徒さんが毎年います。受験で言い訳は通用しません。夏期講習で沢山の問題演習をしていくことをおすすめします。